



サイバーセキュリティ月間



近年、スマートフォンが普及し、誰もがインターネットを利用できるようになり、生活環境の幅が広がりました。

しかし、インターネットを利用した犯罪も増加傾向にあることも周知の事実です。

特定の企業や個人、または不特定多数を標的にしたサイバー攻撃もあり、その目的も金銭目的や愉快犯的犯行もあります。

これらの被害に遭わないように、インターネットの利用には細心の注意を払い、正しくインターネットを利用しましょう。

＜サイバー攻撃の具体例＞

・フィッシング詐欺や重要情報の不正送信

攻撃者はインターネット利用者から個人情報等の重要な情報やお金を盗むために、コンピュータウイルスに感染させて、重要ファイルを不正に送信させたり、偽のメールで偽の銀行サイトなどに誘導する「フィッシング詐欺」を行ったりします。

・ランサムウェアで身代金要求

ランサムウェアとはコンピュータをロックしたり、ファイルを暗号化したりすることによって使用不能に陥らせ、これらを解除するための身代金を要求されることです。

身代金を支払ったとしても、解除するコードをもらえるとは限らないので、普段からデータのバックアップを取るようにしましょう

・ボットネットに組み込まれる

悪意のボット（決められた作業を自動的に行うプログラム）に感染すると、攻撃者が管理する攻撃用の仕組みであるボットネットに接続され、知らないところでサイバー攻撃に参加させられることになります。

＜サイバーセキュリティの【あいうえお】＞

サイバー犯罪の被害に遭わないために、サイバーセキュリティの【あいうえお】を身につけましょう。

- ・【あ】怪しいメールの添付ファイルは開かない
- ・【い】いかがわしいサイトへのアクセスを避けよう
- ・【う】ウイルス対策ソフトを導入しよう
- ・【え】得て備える、サイバー情報・犯罪手口
- ・【お】OS・ソフトウェアの常時バージョンアップ



空き巣にご注意！

平成30年中、生駒市内において26件空き巣の被害がありました。

犯人は窓やベランダの窓ガラス等を割る、勝手口を焼き切る等様々な手を使ってあなたの家に侵入します。

被害に遭わないために、防犯機器の取り付け等被害防止措置を取りましょう！

犯人は、

こんなことを嫌がります

- 時間：侵入に時間がかかる
- 光：明るく照らされている
- 目：顔や姿を見られる
- 音：警報機などの大きな音が鳴る

